

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。
～ATAC規約第2条より～

1. コンサルティング

中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて600件のコンサルティング業務に携わってきました。

2. セミナー開催・講師派遣

従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

3. 書籍刊行

- ・ ATACの経営便利帳
- ・ 現場の課題解決はこうする(中堅・中小企業の業務改善事例)
- ・ 中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ①新商品開発のヒント ②ISO9000 認証取得の手引き
 - ③ISO14001 認証取得の手引き ④中小企業のためのIT
 - ⑤材料選択の手引き ⑥設計を考える
- ・ 目からウロコのアドバイス ～中小企業経営者への提言～

4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報送信サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、**FAX (06-6443-5319)**でお申し込みください。

企業名	担当者
所在地	
TEL	FAX
E-mail	
<input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> E-mail に送信希望いたします。	



「会社の品格」

小笹 芳央著 幻冬舎新書 お3-1 (2007.9.30) 定価(720円+税)

本の帯には「社員を大切にしない会社は必ず滅ぶ」とあります。経済合理性で動く会社は、放っておけばお金儲けや自己保身ばかりを考えて病んでいく。そして、社会の感覚から逸脱したときに不祥事を起こしてしまい、会社は「品格」を問われます。

筆者はまず会社とは「人間が自分たちの夢や希望を実現するために、その手段として作った人工物である」と定義付けを行います。つまり欲望を持った人間が集合して作り出した“概念”であり、その特性を、①お金の事しか考えず、経済合理性を主軸とした行動原理を持つことを最大の特徴とし、それ故に②周囲との摩擦を起こしやすい「問題児」であるとしています。その上で最近取り上げられているコンプライアンスやコーポレートガバナンス、内部統制、企業の社会的責任などを、もともと不祥事を起こしやすい企業を統制して監視しようとする必要な動きと考えます。

会社の品格を保つ上で、経営者や上司の役割がすごく大きいものと思われがちであるが、筆者は、むしろ社員にその役割を期待しています。その理由として、①社員は株主と違い、出資はしていないが、自分の人生をかけた「最大の時間投資家」であり、②会社の内側、最大の当事者であり、③利の源泉である顧客と直接の接点を持っており、④経済合理軸だけではないモチベーションを持ち行動している。さらに、⑤情報化社会によって、外部と自社の対比ができ、会社が品格を持つ上での主役たり得るとしています。

会社のことを一番よく知っている社員が、自らの目線で企業体質を見抜き、会社の品格を支えているのです。今や、『社員と会社の関係が「相互拘束」から「相互選択」へと変わってきた』。

これからは「辞めにくい会社(辞めてほしい人には辞めてもらう)」を創るよりも、「辞めやすい会社(辞めてほしくない人を惹き付ける)」を創ることが重要です。

本の結びでは会社の品格を高めるためのヒントが挙げられています。

読み進むうちに「そうだ! その通り」と同感を覚える箇所が幾度となく現れ、スムーズに読みおえる事が出来ました。

(田村記)

